



2024年12月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年7月31日

上場会社名 山崎製パン株式会社
コード番号 2212 URL <https://www.yamazakipan.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飯島 延浩
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 会田 正久
半期報告書提出予定日 2024年8月9日
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

上場取引所 東
TEL 03-3864-3110

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第2四半期(中間期)の連結業績(2024年1月1日～2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	617,747	9.5	31,029	50.6	34,028	49.5	21,569	53.5
2023年12月期中間期	563,944	6.8	20,610	43.3	22,756	33.0	14,055	55.8

(注) 包括利益 2024年12月期中間期 25,351百万円 (35.1%) 2023年12月期中間期 18,770百万円 (45.5%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期中間期	105.97	—
2023年12月期中間期	67.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	795,404	—	453,757	—	51.1	—
2023年12月期	802,035	—	446,132	—	49.9	—

(参考) 自己資本 2024年12月期中間期 406,598百万円 2023年12月期 400,137百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	—	—	25.00	25.00
2024年12月期	—	—	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	—	—	38.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日～2024年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,234,000	5.0	54,500	29.9	59,000	29.6	36,500	21.0	180.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年12月期中間期	220,282,860 株	2023年12月期	220,282,860 株
--------------	---------------	-----------	---------------

② 期末自己株式数

2024年12月期中間期	17,701,280 株	2023年12月期	14,328,495 株
--------------	--------------	-----------	--------------

③ 期中平均株式数(中間期)

2024年12月期中間期	203,545,286 株	2023年12月期中間期	206,720,524 株
--------------	---------------	--------------	---------------

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社は、2024年7月31日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議しました。これにより、2024年12月期の連結業績予想における「1株当たり当期純利益」については、当該自己株式の取得の影響を考慮して記載しております。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

なお、第2四半期(中間期)決算短信補足説明資料の6ページにセグメント別の売上高及び営業利益の予想を記載しております。

当社は、2024年8月6日(火)に機関投資家及び証券アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料等については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
中間連結損益計算書	7
中間連結包括利益計算書	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	12
3. 補足情報	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間（2024年1月1日～2024年6月30日）におけるわが国経済は、コロナ禍から経済活動が正常化し景気は緩やかな回復基調で推移しましたが、物価上昇により実質賃金の減少が続き個人消費は低迷いたしました。

当業界におきましては、お客様の生活防衛意識が高まり節約志向が強まる中で、前期高騰した鶏卵価格は落ち着きましたものの糖類や油脂など原材料価格の高止まりもあり、厳しい経営環境となりました。また、コンビニエンスストアやフレッシュベーカーリーの小売事業につきましては、コロナ禍からの人流回復やインバウンドの増加もあり来店客数が増加するとともに、パンやおにぎりなどが好調に推移しました。

このような情勢下にあります、当社グループは、「いのちの道」の教えに従い、すべての仕事を種蒔きの仕事から開始する営業・生産が一体となった部門別製品施策・営業戦略、小委員会による「なぜなぜ改善」を推進し、主力製品の品質向上をはかるとともに、2極化・3極化戦略によって低価格製品を充実する一方で、女性製品開発担当者を中心に付加価値を付けた製品開発に取り組むなど、変化するお客様のニーズに対応した隙のない製品対応を推進しました。さらに、消費者キャンペーンを活用して売上拡大に取り組み、業績向上をはかりました。

また、当社グループは、科学的根拠をもった食品安全衛生管理体制の上に行う新型コロナウイルス感染防止対策を継続し製品の安定供給につとめるとともに、労働安全衛生管理体制の充実強化をはかり、従来の現場におけるチョコ停・トラブル、ヒヤリハットを安全日誌により日次・週次・月次で管理する体制に加え、現場の管理職が機械設備や生産ラインの人員体制における問題・課題を管理・監督する、2本立ての労働安全衛生管理体制を整備し、業績向上対策とともに、働く職場の安全に向け取り組んでまいりました。

デイリーヤマザキやフレッシュベーカーリーの小売事業につきましては、小売事業業績改善プロジェクトにおいて、お客様のニーズを的確に把握し、日次管理・週次管理・時間管理の経営手法により日々の仕事の精度向上をはかるとともに、小売事業本部内の戦略製品・戦略商品開発推進チームと連携した女性製品開発担当者による商品開発を推進し、業績向上をめざしました。

当中間連結会計期間の業績につきましては、売上高は6,177億47百万円（対前年同期比109.5%）、営業利益は310億29百万円（対前年同期比150.6%）、経常利益は340億28百万円（対前年同期比149.5%）、親会社株主に帰属する中間純利益は215億69百万円（対前年同期比153.5%）となりました。昨年7月に実施した価格改定の寄与や2極化・3極化戦略が奏功し、山崎製パン(株)単体の食パン、菓子パンが好調に推移したことに加え、連結子会社の業績が改善したこともあり、増収増益となりました。

セグメント別の状況

<食品事業>

食品事業の主要製品別の売上状況は次のとおりであります。

①食パン部門（売上高598億49百万円、対前年同期比111.9%）

食パンは、主力の「ロイヤルブレッド」が伸長するとともに、「スイートブレッド」、「モーニングスター」などの低価格食パンや主力製品のハーフサイズ食パンが伸長しました。また、本年1月に新規技術により品質を向上させた「ダブルソフト」が大きく伸長するとともに、前第4四半期に新規連結した(株)YKベーキングカンパニーの売上寄与もあり、前年同期の売上を大きく上回りました。

②菓子パン部門（売上高2,343億77百万円、対前年同期比114.8%）

菓子パンは、「コッペパン」や「まるごとソーセージ」、「ミニスナックゴールド」などの主力菓子パンが伸長するとともに、「ドーナツステーション」や「ずっしり」シリーズなどの低価格製品が伸長しました。また、「薄皮たまごぱん」など新たに惣菜製品をラインアップした薄皮シリーズが伸長するとともに、前第4四半期に新規連結した(株)YKベーキングカンパニーの売上寄与もあり、前年同期の売上を大きく上回りました。

③和菓子部門（売上高 368 億 86 百万円、対前年同期比 105.1%）

和菓子は、主力の串団子や饅頭が堅調に推移するとともに、主力の「北海道チーズ蒸しケーキ」の伸長や低価格製品の「やまざき蒸しパン」シリーズの寄与もあり蒸しパンが伸長しました。さらに、和洋折衷のチルド製品「クリームたっぷり生どら焼」が寄与し、前年同期の売上を上回りました。

④洋菓子部門（売上高 779 億 15 百万円、対前年同期比 103.5%）

洋菓子は、主力の2個入り生ケーキや「まるごとバナナ」、大きなシューシリーズが伸長するとともに「イチゴスペシャル」などの「スペシャル」シリーズが好調に推移しました。また、値ごろ感のある「喫茶気分」シリーズが寄与するとともに、コンビニエンスストア向け製品が好調に推移し、前年同期の売上を上回りました。

⑤調理パン・米飯類部門（売上高 769 億 3 百万円、対前年同期比 103.6%）

調理パン・米飯類は、(株)サンデリカを中心におにぎりやサンドイッチが伸長するとともに、大徳食品(株)において麺の品質向上により調理麺の売上が拡大したこともあり、前年同期の売上を上回りました。

⑥製菓・米菓・その他商品類部門（売上高 885 億 75 百万円、対前年同期比 107.0%）

製菓・米菓・その他商品類は、(株)不二家の「カントリーマアム」やヤマザキビスケット(株)の「チップスター」、(株)東ハトの「ポテコ」など、各社の主力品が好調に推移し、前年同期の売上を上回りました。

以上の結果、食品事業の売上高は5,745億7百万円（対前年同期比109.4%）、営業利益は299億15百万円（対前年同期比148.3%）となりました。

<流通事業>

デイリーヤマザキのコンビニエンスストア事業につきましては、戦略製品・戦略商品開発推進チームと連携して、「こぼれるクリームパン」などのデイリーホット商品や「ランチパック 大盛り」シリーズなど、女性製品開発担当者による魅力ある商品開発を推進し、お客様に喜ばれるヤマザキ独自のコンビニエンスストアチェーンをめざしました。また、松戸・杉並ドミナントプロジェクトにおいてデイリーホットの品質向上や収益改善などに取り組み、各工場のモデル店を選定し工場と連携した業績改善をはかるとともに、店舗開発や店舗改装によるヤマザキらしい店づくりに取り組みました。この結果、当中間期は、チェーン全店売上高が前年同期を上回るとともに、営業総収入は直営店舗数の増加もあり増収となりました。

以上の結果、流通事業の売上高は 360 億 99 百万円（対前年同期比 112.1%）、営業損失は 5 億 53 百万円（前年同期は 11 億 65 百万円の営業損失）となりました。

<その他事業>

その他事業につきましては、売上高は 71 億 40 百万円（対前年同期比 106.1%）、営業利益は 13 億 99 百万円（対前年同期比 105.9%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末の資産合計は 7,954 億 4 百万円で、前連結会計年度末に対して 66 億 31 百万円減少しました。流動資産は 3,103 億 44 百万円で、売掛金の減少等により、前連結会計年度末に対して 44 億 43 百万円減少しました。固定資産は 4,850 億 59 百万円で、有形固定資産の減価償却が進んだこと等により、前連結会計年度末に対して 21 億 87 百万円減少しました。負債合計は 3,416 億 46 百万円で、支払手形及び買掛金等の支払債務の減少や借入金の返済等により、前連結会計年度末に対して 142 億 56 百万円減少しました。純資産は 4,537 億 57 百万円で、自己株式の取得による減少はありましたが、利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に対して 76 億 25 百万円増加しました。

この結果、自己資本比率は 51.1%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前中間純利益 337 億 61 百万円に加え、減価償却費 198 億 89 百万円などにより 467 億 92 百万円のプラスとなりましたが、前年同期に対しては 53 億 43 百万円収入が減少しました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出などにより 196 億 55 百万円のマイナスとなりましたが、前年同期に対しては 93 億 68 百万円支出が減少しました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済、自己株式の取得、配当金の支払などにより 232 億 90 百万円のマイナスとなり、前年同期に対しては 81 億 71 百万円支出が増加しました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当中間連結会計期間末残高は 1,338 億 68 百万円となり、前連結会計年度末残高に対しては 42 億 86 百万円の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しといたしましては、わが国経済は、雇用・所得環境の改善が進み、景気は緩やかに回復していくことが期待されますが、物価高によりお客様の節約志向が続く中で、物流コストやエネルギーコストの上昇が予測され、厳しい経営環境になるものと思われま

す。このような状況下にあります。当社グループは引き続き、「いのちの道」の教えに従い、すべての仕事を種蒔きの仕事から開始する営業・生産が一体となった部門別製品施策・営業戦略、小委員会による「なぜなぜ改善」を推進し、新規技術を活用した品質向上をはかり、2極化・3極化戦略によって、変化するお客様のニーズに対応した隙のない製品対応を推進し、新しい価値と新しい需要の創造に取り組むとともに、2本立ての労働安全衛生管理を充実強化して働く職場の安全にも取り組み、着実な業績向上をはかってまいります。

なお、2024年2月14日に公表いたしました通期業績予想及び配当予想を修正いたしました。業績予想及び配当予想の修正の詳細につきましては、本日公表いたしました「2024年12月期中間連結会計期間における業績予想値と実績値との差異および通期業績予想の修正ならびに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	134,937	139,275
受取手形	148	140
売掛金	134,965	124,101
商品及び製品	13,750	14,230
仕掛品	728	1,023
原材料及び貯蔵品	15,203	15,561
その他	15,396	16,349
貸倒引当金	△341	△338
流動資産合計	314,787	310,344
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	433,007	436,416
減価償却累計額	△318,729	△321,805
建物及び構築物（純額）	114,277	114,610
機械装置及び運搬具	581,140	586,157
減価償却累計額	△492,160	△499,234
機械装置及び運搬具（純額）	88,980	86,922
工具、器具及び備品	43,677	44,517
減価償却累計額	△35,068	△35,845
工具、器具及び備品（純額）	8,609	8,671
土地	124,291	124,425
リース資産	21,469	22,590
減価償却累計額	△14,081	△14,950
リース資産（純額）	7,387	7,639
建設仮勘定	4,040	4,411
有形固定資産合計	347,586	346,682
無形固定資産		
のれん	9,052	8,289
その他	12,365	12,052
無形固定資産合計	21,417	20,341
投資その他の資産		
投資有価証券	80,580	82,792
長期貸付金	1,218	1,197
退職給付に係る資産	649	652
繰延税金資産	9,621	7,830
その他	28,574	27,920
貸倒引当金	△2,401	△2,357
投資その他の資産合計	118,242	118,035
固定資産合計	487,247	485,059
資産合計	802,035	795,404

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	89,239	86,112
短期借入金	55,608	55,156
リース債務	3,551	3,376
未払法人税等	11,576	12,344
未払費用	41,541	40,724
賞与引当金	5,793	5,515
店舗閉鎖損失引当金	48	50
資産除去債務	21	13
その他	50,495	43,833
流動負債合計	257,877	247,128
固定負債		
長期借入金	16,690	13,398
リース債務	4,282	4,534
役員退職慰労引当金	5,113	5,642
退職給付に係る負債	58,293	57,212
資産除去債務	4,813	4,824
その他	8,831	8,905
固定負債合計	98,025	94,518
負債合計	355,902	341,646
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,014	11,014
資本剰余金	9,632	9,632
利益剰余金	343,395	359,815
自己株式	△26,185	△38,091
株主資本合計	337,856	342,370
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	36,112	38,799
繰延ヘッジ損益	—	0
土地再評価差額金	99	99
為替換算調整勘定	6,494	6,295
退職給付に係る調整累計額	19,575	19,032
その他の包括利益累計額合計	62,281	64,227
非支配株主持分	45,994	47,159
純資産合計	446,132	453,757
負債純資産合計	802,035	795,404

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
売上高	563,944	617,747
売上原価	380,449	410,737
売上総利益	183,494	207,009
販売費及び一般管理費	162,884	175,979
営業利益	20,610	31,029
営業外収益		
受取利息	100	251
受取配当金	802	939
固定資産賃貸収入	492	502
持分法による投資利益	224	418
為替差益	668	1,158
雑収入	641	610
営業外収益合計	2,929	3,880
営業外費用		
支払利息	353	438
固定資産賃貸費用	153	139
災害による損失	126	128
雑損失	148	175
営業外費用合計	782	881
経常利益	22,756	34,028
特別利益		
固定資産売却益	61	132
関係会社株式売却益	76	300
投資有価証券売却益	0	193
その他	83	44
特別利益合計	221	670
特別損失		
固定資産除売却損	471	619
減損損失	288	189
その他	188	128
特別損失合計	948	937
税金等調整前中間純利益	22,028	33,761
法人税等	7,441	11,073
中間純利益	14,587	22,687
非支配株主に帰属する中間純利益	532	1,118
親会社株主に帰属する中間純利益	14,055	21,569

中間連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
中間純利益	14,587	22,687
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,070	2,708
為替換算調整勘定	△1,751	490
退職給付に係る調整額	△168	△573
持分法適用会社に対する持分相当額	31	37
その他の包括利益合計	4,182	2,663
中間包括利益	18,770	25,351
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	18,110	23,515
非支配株主に係る中間包括利益	659	1,836

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	22,028	33,761
減価償却費	19,053	19,889
減損損失	288	189
災害損失	126	128
のれん償却額	803	829
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△129	△47
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△175	△294
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△1,903	△1,894
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	123	529
受取利息及び受取配当金	△902	△1,190
持分法適用会社からの配当金の受取額	72	93
支払利息	353	438
為替差損益 (△は益)	△668	△1,158
持分法による投資損益 (△は益)	△224	△418
固定資産除売却損益 (△は益)	409	486
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△193
関係会社株式売却損益 (△は益)	△76	△300
投資有価証券評価損益 (△は益)	2	—
売上債権の増減額 (△は増加)	27,422	11,245
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△755	△1,183
仕入債務の増減額 (△は減少)	△5,539	△3,039
未払費用の増減額 (△は減少)	△2,927	△953
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△564	469
その他	△643	△2,143
小計	56,174	55,242
利息及び配当金の受取額	900	1,188
利息の支払額	△345	△427
法人税等の支払額	△4,593	△9,211
営業活動によるキャッシュ・フロー	52,135	46,792
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	△159	177
有形固定資産の取得による支出	△18,643	△21,011
有形固定資産の売却による収入	65	105
無形固定資産の取得による支出	△1,420	△1,199
投資有価証券の取得による支出	△6,876	△93
投資有価証券の売却による収入	109	2,659
貸付けによる支出	△2,000	—
貸付金の回収による収入	56	61
その他	△154	△354
投資活動によるキャッシュ・フロー	△29,023	△19,655

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	1,437	△648
リース債務の返済による支出	△1,845	△1,884
長期借入れによる収入	900	1,670
長期借入金の返済による支出	△6,179	△4,766
自己株式の取得による支出	△4,294	△11,905
配当金の支払額	△4,576	△5,129
非支配株主への配当金の支払額	△560	△626
財務活動によるキャッシュ・フロー	△15,118	△23,290
現金及び現金同等物に係る換算差額	△140	439
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	7,852	4,286
現金及び現金同等物の期首残高	119,559	129,582
現金及び現金同等物の中間期末残高	127,412	133,868

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年2月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式3,372,500株の取得を行っております。この結果等により、当中間連結会計期間において、自己株式が11,905百万円増加し、当中間連結会計期間末において自己株式が38,091百万円となっております。

(セグメント情報等)

I 前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	中間連結 損益計算書 計上額(注)2
	食品事業	流通事業	その他 事業	計		
売上高						
食パン	53,463	—	—	53,463	—	53,463
菓子パン	204,168	—	—	204,168	—	204,168
和菓子	35,093	—	—	35,093	—	35,093
洋菓子	75,274	—	—	75,274	—	75,274
調理パン・米飯類	74,208	—	—	74,208	—	74,208
製菓・米菓・その他商品類	82,804	—	—	82,804	—	82,804
その他	—	32,200	6,639	38,840	—	38,840
顧客との契約から生じる収益	525,013	32,200	6,639	563,853	—	563,853
その他の収益	—	—	90	90	—	90
外部顧客への売上高	525,013	32,200	6,730	563,944	—	563,944
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,775	4,597	19,025	29,398	△29,398	—
計	530,788	36,798	25,755	593,343	△29,398	563,944
セグメント利益又は損失(△)	20,170	△ 1,165	1,321	20,326	283	20,610

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額283百万円は、セグメント間取引の消去であります。

2 セグメント利益又は損失は中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	中間連結 損益計算書 計上額(注)2
	食品事業	流通事業	その他 事業	計		
売上高						
食パン	59,849	—	—	59,849	—	59,849
菓子パン	234,377	—	—	234,377	—	234,377
和菓子	36,886	—	—	36,886	—	36,886
洋菓子	77,915	—	—	77,915	—	77,915
調理パン・米飯類	76,903	—	—	76,903	—	76,903
製菓・米菓・その他商品類	88,575	—	—	88,575	—	88,575
その他	—	36,099	7,036	43,135	—	43,135
顧客との契約から生じる収益	574,507	36,099	7,036	617,643	—	617,643
その他の収益	—	—	103	103	—	103
外部顧客への売上高	574,507	36,099	7,140	617,747	—	617,747
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,841	4,852	20,546	32,240	△32,240	—
計	581,349	40,951	27,686	649,987	△32,240	617,747
セグメント利益又は損失(△)	29,915	△ 553	1,399	30,761	267	31,029

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額267百万円は、セグメント間取引の消去であります。

2 セグメント利益又は損失は中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

(1) 連結販売実績

(単位: 百万円)

セグメント名称	区 分	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)		当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)		比 較 増 減	
		金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	前年同期比
食品事業	食 パ ン	53,463	9.5%	59,849	9.7%	6,386	111.9%
	菓 子 パ ン	204,168	36.2	234,377	37.9	30,208	114.8
	和 菓 子	35,093	6.2	36,886	6.0	1,792	105.1
	洋 菓 子	75,274	13.3	77,915	12.6	2,640	103.5
	調理パン・米飯類	74,208	13.2	76,903	12.5	2,694	103.6
	製菓・米菓・その他商品類	82,804	14.7	88,575	14.3	5,771	107.0
	食 品 事 業 計	525,013	93.1	574,507	93.0	49,494	109.4
流 通 事 業	32,200	5.7	36,099	5.8	3,898	112.1	
そ の 他 事 業	6,730	1.2	7,140	1.2	410	106.1	
合 計	563,944	100.0	617,747	100.0	53,802	109.5	

(2) 主要子会社実績

(単位: 百万円)

	売 上 高				営 業 利 益			
	前中間期	当中間期	増減額	増減率	前中間期	当中間期	増減額	増減率
(株)不二家(連結)	51,010	53,181	2,171	4.3%	205	1,088	882	429.4%
(株)サンデリカ	49,842	51,602	1,759	3.5	364	1,296	932	255.8
ヤマザキビスケット(株)	14,917	17,117	2,199	14.7	256	1,624	1,368	534.4
(株)YKベーキングカンパニー	—	16,497	—	—	—	50	—	—
(株)ヴィ・ド・フランス	14,061	14,674	613	4.4	112	594	481	427.7
(株)東ハト	13,605	14,642	1,037	7.6	869	1,024	154	17.8

(3)2024年12月期第2四半期(中間期)の単体業績(2024年1月1日~2024年6月30日)

①単体経営成績

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	430,652	5.6	21,854	30.3	25,492	29.8	17,599	36.5
2023年12月期中間期	407,701	6.7	16,775	55.6	19,635	37.0	12,893	39.2

②単体財政状態

	総資産	純資産
	百万円	百万円
2024年12月期中間期	562,762	326,405
2023年12月期	572,040	323,456

(注) 単体業績数値は、財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

(4)単体販売実績

(単位:百万円)

期別 品種別	前中間会計期間 (自2023年1月1日 至2023年6月30日)		当中間会計期間 (自2024年1月1日 至2024年6月30日)		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	前年同期比
食パン	51,998	12.8%	55,365	12.9%	3,367	106.5%
菓子パン	187,102	45.9	199,186	46.2	12,083	106.5
和菓子	34,850	8.5	36,202	8.4	1,351	103.9
洋菓子	56,955	14.0	58,488	13.6	1,533	102.7
調理パン・米飯類	27,075	6.6	27,954	6.5	879	103.2
製菓・米菓・その他商品類	24,148	5.9	25,062	5.8	913	103.8
小計	382,130	93.7	402,259	93.4	20,129	105.3
デイリーヤマザキ事業	34,036	8.4	38,110	8.9	4,073	112.0
内部消去	△ 8,466	△ 2.1	△ 9,717	△ 2.3	△ 1,251	—
合計	407,701	100.0	430,652	100.0	22,950	105.6